

新あいち商店街プランの取りまとめに寄せて

商店街は、私たちの日々の暮らしにおける身近な存在として、商品・サービスやふれあい・憩いの提供、賑わいの創出など、大きな役割を果たしてきています。しかしながら、近年は、モータリゼーションの進展、消費行動の多様化等によって、買物の中心が大規模な駐車場を備えた大型店へと移り、多くの商店街で来客が減り、往時の賑わいが見られなくなってきました。

こうした中、本県では、平成19年3月に「あいち商店街アクションプラン」を策定し、県内各地の商店街における活性化に向けた様々な取組を支援してきましたが、このプランが平成22年度までで目標期間を終了したことから、今般、新たな施策の指針となる「新あいち商店街プラン」をとりまとめました。

「平成の楽市楽座」の実現などを通じて「日本一元気な愛知」を作り上げるという基本方針の下で策定した新たなプランでは、これまでの取組に加え、子育てや買い物支援、防災・防犯面での取組など、商店街に期待される「地域コミュニティの担い手」としての機能や役割に着目し、そうした取組を通じて活性化を目指す商店街を支援することといたしました。

また、商店街には、名産・名食・名所づくりなどの取組を強化し、県内固有の資源を活かした「都市・まち・むらぐるみ賑わいあいち創造戦略」の一翼も担っていただきたいと考えております。

県としては、このプランに掲げた施策はもとより、県政の諸課題に全力で取り組み、元気な商店街と賑わいあるまちづくり、そして、世界と闘える力強い愛知・名古屋の実現を目指してまいります。商店街の皆様を始め、NPOや学校、観光関係団体、国、市町村、関係機関・団体の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

最後になりますが、策定委員会の委員の皆様を始め、本プランの取りまとめにご尽力・ご協力をいただいた皆様に対し、心から御礼を申し上げます。

平成23年5月



愛知県知事 大村秀章